

### 川と生き物について楽しく学ぶ 「夏休み親子教室」を開催しました

毎年恒例となった「夏休み親子教室」も3回目(平成12年8月19日)を迎えました。小学校4年生から6年生までの児童たちが、保護者と一緒にワクワク、ドキドキの初めての体験に目を輝かせていました。今回は、実験河川のうち、水際に植物が生い茂った区間と、コンクリート護岸の区間の2ヵ所で魚類や水生昆虫の調査を体験し、生き物の生息状況の違いについて考えました。



### 「自然共生研究センター研究報告会」のお知らせ

9月5日、一般の方々を対象とした初の報告会「自然共生研究センター研究報告会2000」が岐阜市文化センターで開催されました。研究員による実験河川を使ってこれまでに得られた成果の紹介とともに、オープン・ディスカッションも行われました。報告会は10月にも東京で行われます。ぜひご参加下さい。

●10月24日(火) 13:30~日本青年館・中ホール(東京都新宿区)



### 出水実験のお知らせ

実験河川や実験池には、新境川の水が流れています。その水を配水している配水池では、ゲートを倒すことによって、各河川に毎秒4tの人工的な出水を起こすことができます。つまり、人工的な洪水を引き起こすことで、さまざまな調査・研究が行われています。A、C河川で下記の予定で行われる出水実験の様子をご覧になりたい方は、自然共生研究センターまでご連絡下さい。

●出水実験の予定日

- 10月4日(水)
- 10月18日(水)
- 11月15日(水)
- 12月13日(水)



### 図書室・ビジタールームのご利用について

河川についての専門図書や全国の河川に関する資料が閲覧できます。各都道府県作成の冊子のほか、CDやビデオもあります。貸出は行っておりませんが、一般に公開していますので、ご利用下さい。

●開館時間 月~金曜日 9:30~17:00



# ing

た・だ・今 進・行・中

### 今年度の出水実験の計画

実験河川は、蛇行河川12本と直線河川1本の計3本からなっています。今年度の出水実験は、蛇行河川1本と直線河川に出水を起し、もう1本の蛇行河川は出水を起さないという条件設定を行いました。実験河川に隣接している新境川や木曾川では、降雨に関わる梅雨前線・台風などの季節的な要因によって洪水が起きています。そこで実験河川でもその現象に近い洪水を起すため、それらの季節的な要因を考慮し出水実験の回数や規模の計画を行っています。

### 自然河岸形成研究ゾーンに新しい仕掛けができました。

自然河岸形成研究ゾーンでは人工的に淵を維持したり自然河岸を形成するために、もともと平坦で単調だったこのゾーンに、水制工、ベン工、早瀬工等の構造物を設置しました。このように川の中の地形を複雑にすることによって、多様な生息環境の形成につなげることを目的としています。

### ワンドの形状が変わりました。

ワンド研究ゾーンには川沿いに湾状にくぼんだ止水域がつくられています。昨年度までは四角い4つのワンドでしたが、今年度からは3つの大きなワンドにつくり変えました。ワンドの下流部に開口部があり本川とつながっています。また緩やかな法面があり、浅い水域と深い水域をつくりました。ワンド内に形成された異なるハビタットタイプと生物相との関係を調べることができます。



## 自然共生研究センター AQUA RESTORATION RESEARCH CENTER

〒501-6021 岐阜県羽島郡川島町笠田町官有地無番地  
Tel 058689-6036 Fax 058689-6039  
URL <http://www.pwri.go.jp/>

自然共生研究センターの英訳は、Aqua Restoration Research Center 略してARRC。この略称の発音が期せずして Noah's ark(ノアの方舟)と同じになった。

発行:建設省自然共生研究センター ARRC NEWS No.1  
2000年9月

**R100** 古紙配合率100%再生紙  
を使用しています。



### 交通のご案内

**自動車をご利用の場合**  
東海北陸自動車道岐阜各務原ICより10分  
(研究棟へは河川環境楽園・西口駐車場が便利です)  
※川島PAより徒歩で来ることができます。

**電車をご利用の場合**  
名鉄新名古屋駅または新岐阜駅から笠松駅へ笠松駅からタクシーで10分  
(笠松駅からの交通はタクシーのみです)

